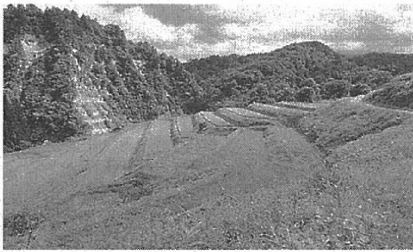


農業王国山形は米の生産量全国4位である(農林水産省「平成30年産水陸稲の収穫量」)。県内の稲作地帯では大きな庄内平野が有名だが、平地は限られるため、山間部の傾斜地に先人が苦勞して開墾したのであろう。棚田もみられる。全国的には石川県輪島市の白米千枚田、千葉県鴨川市の大山千枚田などの棚田が有名であるが、県内では県の北東部、新庄市に隣接し月山の麓に位置する大蔵村に四ヶ村(しかむら)地区の棚田がある。

### 情感あふれる大蔵村

村の中心部から南へ約10<sup>分</sup>、山間ではあるものの広々と拓けた台地上に小規模な集落が点在する中、傾斜地に広がる棚田が見えてくる。今回訪れたのは9月中旬で、稲穂



稲穂が黄金色に染まる四ヶ村の棚田

が黄金色に染まり始めた。斜面地で水利等の条件が容易ではない土地を開墾し、

## ～文化的歴史的所産を巡る～ 残したい情景

第22回 山形県大蔵村・飯豊町



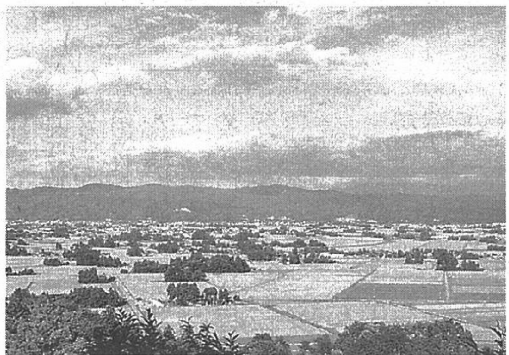
一般財団法人 日本不動産研究所

先祖代々維持管理してきた棚田は、そこに暮らす人々にとっては長年にわたって日々の暮らしの営みを続けてきた場であり、決して誰かに見せようとして形作ってきた風景ではないだろうが、昔話で聞かされたようなこれぞ日本の原風景という赴きを感じさせる場所である。

同じ大蔵村内には豪雪で有名な肘折温泉があり、湯治場として歴史の深い温泉街の町並みは古き良き昭和の時代の情景を色濃く残している。昭和といえは個人的には渾美清演じる寅さんが旅して回る日本各地の情景が懐かしく思い

に接する人口約6800人の町である。町北部の平野部には飯豊連峰から流れ出る白川沿いに水田地帯が広がっているが、農家は冬期の厳しい北西風を避けるため水田近くの住居の周りに屋敷林を植え風雪への備えとした。屋敷林はまた夏期には住居に照りつける陽射しを遮り盆地の高気温を和らげ、切り落とし樹木の枝は燃料の足しに利用された。こうした農村生活の伝統的な知恵から形成された集落は、田園

田園に浮かんだような飯豊町の散居集落



### 「日本で最も美しい村」宣言

## 市場価値で測れない原風景

出されるが、この温泉街にトランク片手に草履をつっかけた寅さんがふらっと現れたら絵になると思う。季節はやはり冬の雪景色が似合うだろうか。ただ、寅さんは靴は履かずいつも草履なので、真冬の豪雪地帯には近寄りなかつたかもしれない。

### 田園散居の飯豊町

飯豊町は山形県の南西部、日本百名山の飯豊山の麓にあり、東は米沢市、南は福島県

に浮かぶ島々のような印象的な風景を生み出した。長らく農耕中心の営みを続けてきた純日本の原風景といえる美しさが感じられる場所である。

上記の大蔵村、飯豊町はいずれもNPO法人「日本で最も美しい村」連合に登録された自治体である。「日本で最も美しい村」連合は、素晴らしい地域資源を持ちながら過疎にある美しい町や村が「日本で最も美しい村」を宣言す

ることで自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行うこと、地域の活性化を図り地域の自立を推進すること等を目的として活動している。いずれも人口減少や高齢化に悩む地方の小規模自治体であるが、そこには地元の人々の長きにわたる生活の営みにより培われてきた純日本の美しい農山村の風景が残され、単なる市場価値では測れない文化的歴史的な価値を感じさせられる。時代は昭和から平成そして令和へと変わったが、トランク片手に寅さんがふらっと旅の道中に現れて来てくれそうなおまじい町や村は、いつまでもそのまますていてほしいものである。(山形支所/不動産鑑定士・中村剛)



湯治場として歴史がある肘折温泉